

あけましておめでとうございます。地球温暖化の危機が叫ばれる中で、年末から例年になく寒波が大きくなるとなるとなると襲来しています。会員の皆様方、ご家族の皆様方は、お変わりなくご清祥にお過ごしのことと、お慶び申し上げます。

去年は政権交代など、戦後最大級の地殻変動の年となりました。そこに働いた民意がどのようなかたちで現実的なかたちに収斂してゆくか、今年はそれが問われてゆく年になります。それにもまして気分が悪くなるようないろいろな事件も起こりました。広島大学もキャンパス内、それから学生寮への道の照明を明るくし、女子学生に防犯ブザーをもたせる対応をしています。私たちの住む環境にどのようなセキュリティを確保してゆくか、今年の課題でもあると思います。

広島大学は、昨年創立60周年を迎え、はなやかなホームカミングデーを開催し、多くの教職員OBや卒業生、市民たちが集まり、広いキャンパスを賑わしました。今年は還暦後の新しい第1年を歩みはじめることとなります。

そのような年のはじめに、広島出身で、日本近代美術史の代表的日本画家児玉希望の旧宅（蓬萊亭）を見学する例会を、下記の要領で開催いたします。万障お繰り合わせの上、ご出席ください。ご家族、ご友人同伴も歓迎いたします。

第6回マスターズ例会案内

—蓬萊亭と賀茂鶴酒造の見学・新年会—

記

- 【期 日】** 2010年2月4日(木) 15:30～
【集合場所】 賀茂鶴酒造本社前（東広島市西条本町）茶屋本陣正面前
JR西条駅東2分。同駅前東側交番の側道に入り、屋台村を抜けるとすぐ。
【見学会】 児玉希望旧宅（蓬萊亭）及び賀茂鶴蔵＋試飲会
試飲希望者はマイカーを避けてください。
【新年会】 仏蘭西屋（賀茂鶴酒造本社斜め前方。徒歩1分）
【経 費】 見学会無料。新年会参加者は6,000円です。
【申 込 み】 2月1日（月）までにお申し込みします。

プログラム 15:30 賀茂鶴酒造本社前集合：蓬萊亭見学
16:30 賀茂鶴酒造見学（試飲できます。）
17:30 仏蘭西屋

問合せ＋申込み先：Eメールまたは郵便でお願いします。

Eメール：sec-masters@phoenix.hirodai.jp

〒739-0043 東広島市西条西本町28-6 サンスクエア東広島3F

広島大学サテライトオフィス内

広島大学マスターズ事務局

なお、TELの場合には、以下をお願いします。

金田（月10:00～17:00；火13:00～17:00 広大監事室（直通）082-424-7116

それ以外はmobile090-6403-7583；あるいは0823-36-5321）

児玉希望及び児玉希望旧宅（蓬萊亭）についての情報は次頁を参照してください。

児玉希望とはこういう画家である

児玉希望は1898（明治31）年広島県高田郡来原村（現安芸高田市高宮町）原田に生れる。1918（大正7）年上京、日本画家川合玉堂に師事する。1921（大正10）年帝展に初入選し、昭和期には帝展、新文展を舞台に活躍。1937（昭和7）年希望画塾を開き、日本画家奥田元宋を内弟子に加える。1950（昭和25）年日本芸術院賞受賞。1952（昭和27）年日本芸術院会員。1961（昭和36）年日展常務理事。1971（昭和46）年東京にて没。

戦後の日本画壇は、大きく院展系と日展系に分かれるが、前者では平山郁夫、後者では奥田元宋が総帥であり、いずれも広島県出身であった。児玉希望は、自ら日展系日本画の頂点にあったが、奥田元宋の師としても揺るぎない地位を誇った。

風景画からはじまり、細密な写生画を得意とし、郷里の風景を描いて腕をあげたが、のちに水墨画、人物画、静物画にも通じ、戦後ヨーロッパ旅行後は抽象画にもレパートリーを広げた。伊東深水らと日月社を興したが、自身美人画にも手を染めた。日本画家でありながら、油彩画や水彩画もよくし、その探求の精神は終生衰えることなく、きわめてモダンな画家として知られた。2000（平成12）年、広島県立美術館で大回顧展が開催され、昨年も京都府立堂本印象美術館では、堂本印象、山口蓬春を加えて「超『日本画』モダニズム」展が開かれた。

主な所蔵先：東京国立近代美術館、東京都現代美術館、大阪市立美術館、山種美術館等。広島県立美術館には100点以上所蔵され、常設のコーナーがある。

児玉希望の旧宅が何故東広島市西条町に移築されたのか

賀茂鶴酒造株式会社の石井泰行会長の令室が児玉希望の息女である。その縁で、2005（平成17）年秋、児玉希望没後、東京都文京区にあった邸宅が西条町の、社の敷地内の現在地に移築されることになった。そこは希望が、生前そこで暮らし、画笔を揮って多くの名作を制作した邸宅兼アトリエである。私たちにとって、生前の画家をしのぶとともに、画家がどのような住環境の中で制作に専心するかを知る、ひじょうに貴重な住空間である。

当宅は蓬萊亭と号して、賀茂鶴酒造本社に隣接して、江戸時代の御茶屋本陣の門の遺構の奥に位置し、池泉を配する。広島でも武家茶人上田宋箇に発する上田和風堂の庭園を近年復元したことで知られる、京都の（株）安井杢工務店（京都府）が、釘一本使わずに建てた和の情緒と風情を漂わせる純日本建築である。亭内には、茶室のほかに児玉希望画伯の絵も展示されている。普段は公開されていないが、特別の芸術的な催しや遠来からの賓客をもてなす茶会等として使用されている。

このたび、石井会長の特別のはからいで、わが广大マスターズの例会のために見学の機会をあたえていただくことになった。この機会にぜひこの邸宅の建築美をご覧になっていただきたい。



平成 22 年度も広大マスターズ市民講座を行います

平成 22 年度の市民講座のプログラムがほぼ決定しました。会員の皆様方もご活用いただきたいと思い、ご案内します。会員以外のお知り合いの方にもぜひご宣伝ください。

1. 講座名：「はじめてのドイツ語」

講座概要：簡単な日常会話を通して、ドイツ語の基本的な特性を、英語と比較しつつ、習得します。辞書が引ける高さまで登れば、あとは快適な尾根歩きです。

担当講師：岡崎忠弘（おかざき ただひろ）（広島大学マスターズ会員，広島大学名誉教授）

回数：4回（隔週）

実施日：2010年6月28日（月）「はじめてのドイツ語(1)」

2010年7月12日（月）「はじめてのドイツ語(2)」

2010年7月26日（月）「はじめてのドイツ語(3)」

2010年8月9日（月）「はじめてのドイツ語(4)」

実施時間：13:30～15:00（毎回）

実施場所：市民文化センター研修室（サンスクエア 2F）を希望

2. 講座名：「旅のドイツ語」

講座概要：切符を買うとき、あるいは部屋を予約したり、道を聞いたり、スナップ写真を頼む際などに、英語しかできないと思われている日本人が、ドイツ語で話しかければ、満面の笑みがかえってきて、心地いい旅となること請け合いです。

担当講師：岡崎忠弘（おかざき ただひろ）（広島大学マスターズ会員，広島大学名誉教授）

回数：4回（隔週）

実施日：2010年10月4日（月）「旅のドイツ語(1)」

2010年10月18日（月）「旅のドイツ語(2)」

2010年11月1日（月）「旅のドイツ語(3)」

2010年11月15日（月）「旅のドイツ語(4)」

実施時間：13:30～15:00（毎回）

実施場所：市民文化センター研修室（サンスクエア 2F）を希望

3. 講座名：「くらしの中の無線」

講座概要：①情報伝達の形態 ②アナログからデジタルの世界へ ③光の3原色・色の3原色 ④放送：Openの世界（1:n）テレビ，ラジオ ⑤通信：Closeの世界（1:1）電話，CS ⑥メディア：記録、保存（レコード、テープ、CD、DVD）

担当講師：井上宣邦（いのうえ のぶくに）

回数：4回

実施日：5月及び10月以外の土曜日（詳細は未定）

4. 講座名：「野っ原探検講座」

毎年ひじょうに好評で、今年度もつづける。講師は昨年度と同じ。日程は未定であるが、参考として昨年のプログラムを掲載する。

{参考} 講座「家族で挑戦！野っ原探検講座」 1) 8月23日：「ホテルの川の探検とナマズ捕り」宗岡洋二郎 2) 9月14日：「みどりの牧場で土の世界探検」安藤忠男 3) 10月12日：「里山で遊ぼう」西村清巳 4) 11月8日：「東広島の大池探検」沖村雄二

5. 講座名：「現代社会と人間関係（仮題）」

講座概要：社会と個人（または集団と個人）、カウンセリング、ハラスメントのかたち、支えあう人と人（ソーシャル・サポート）

1) 6月5日（土）：「集団の中の私」黒川正流（くろかわ まさる）（会員、社会心理学）

2) 6月12日（土）：「カウンセリング」岩村 聡（いわむら さとし）（会員、心理カウンセリング）

3) 6月19日（土）：「ソーシャル・サポート」浦 光博（うら みつひろ）（広大大学院総合科学研究科教授）

4) 6月26日（土）：「ハラスメント」坂田桐子（さかた きりこ）（広大大学院総合科学研究科教授、ハラスメント相談室相談員）

2009年のTSS文化大学教養講座も無事終了しました

TSS主催で、わがマスターズが講師を派遣しているTSS文化大学教養講座も好評のうちに終了いたしました。2010年度も担当の安藤忠男幹事が構想されていますが、会員の皆様へ講師担当のご依頼があるかもしれませんので、そのときはぜひご協力お願いします。以下、日程、講師名、演題を掲載し、講師の先生方の労をねぎらいたいと思います。

<2008年度：1月～3月>

- 1) 1月6日：川上 英之 「中高年者と食中毒」
- 2) 2月3日：太田 安英 「酵素：加工食品での役割」
- 3) 3月3日：山本 禎紀 「広島から農業と食料や環境の問題を考える」

<2009年度：4月～12月>

- 1) 4月21日：沖村 雄二 「地質学を楽しむー広島県の国立公園・天然記念物調査から」
- 2) 5月19日：山本 義雄 「生物多様性と動物遺伝資源」
- 3) 6月9日：西村 清巳 「里山の散策で感性を磨く」
- 4) 7月14日：宗岡洋二郎 「技術の発達に伴う病についてー生物学の立場からー」
- 5) 9月8日：岡本 敏一 「家畜とヒトの骨」
- 6) 10月13日：中川 平介 「広島湾のクロダイ研究」
- 7) 11月10日：山本 禎紀 「畜産科学からみえたわが国の食料、環境、家畜福祉などの課題」
- 8) 12月8日：鈴木 寛一 「廃棄バイオマスのエネルギー化と地球温暖化対策」

「広島大学マスターズ」って何??

昨年10月31日(土)、11月1日(日)の両日、東広島市運動公園で東広島市生涯学習フェスタが開催された。わがマスターズもブースをあたえられ、会とこれまでの活動の紹介を行いました。まだまだ知名度が低く、敷居が高いという印象があり、ブースに立ち寄る客の勢いがもう一つの感が拭えなかったようです。その反省もあり、「市民の近くに」のモットーを一段と具体化するための議論が、会場に出席した幹事の間でありました。その様子を以下に紹介します。

生涯学習フェスティバルのブースに集った担当幹事たち、「広島大学マスターズ」の看板だけでは来場者には何だかわからないんじゃないか、と心配が頭をよぎっている様子。サブタイトルかキャッチコピーのようなものを考えてみようということになった。居合わせた数人の会員から出てきたフレーズは、「生涯学習支援OB会」・「OBによる生涯学習支援」・「OBによる生涯学習支援組織」・「生涯学習支援の熟年パワー」・「生涯学習をお手伝いする会」・「学び支援のオールドパワー」・「知と経験のボランティア」・「マスターズは知の集団」・・・エトセトラ・・・。

いまホームページには「地域貢献をめざす、元広島大学職員で構成する団体です」・「マスターズにはだれがいる。こんなことをやって欲しいという要望を待っています」というキャッチコピーが使われていますが・・・会員の皆さんにも考えてもらったら、もっと良い案が出てくるかも、となった次第。マスターズ本部に思いついたままをぜひご連絡ください。

<問い合わせ先>

事務局：739-0043 東広島市西条西本町 28-6 サンスクエア東広島 3F

広島大学サテライトオフィス内

広島大学マスターズ事務局

E-Mail: masters@hiroshima-u.ac.jp あるいは sec-masters@phoenix.hirodai.jp

FAX:082-493-7981

(事務局には担当者が定期的に郵便物等を取りにゆくだけなので、メールかFAXをご利用ください。)

URL: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/masters/>